

**当院において2023年および2024年の腰痛調査アンケートにご協力いただいた、職員の皆様へ  
ーノーリフトケア実践病院での比較研究への協力依頼ー**

研究機関名およびその長の氏名:岡山東中央病院 病院長 眞鍋 良二  
研究責任者 :岡山東中央病院 リハビリテーション科 亀井 透

### 1) 研究の背景および目的

医療・介護現場での腰痛発生は、職員の身体的負担を増大させ、患者ケアの質の低下やインシデント発生リスクを高める要因であることが報告されています。  
近年、介助者の腰痛予防と利用者の安全向上を目的としたノーリフトケアが注目されており、スライディングシートの活用が広まりつつあります。  
そこで、今回はスライディングシートの活用促進が、職員の腰痛発生件数に与える影響を評価することを目的に調査を行いました。

### 2) 研究対象者

本研究の対象者は、2023年および2024年に岡山東中央病院および総合病院岡山協立病院に勤務していた常勤・非常勤職員のうち、院内で実施された腰痛に関するアンケート調査に自発的に回答したすべての職員としました。いずれの年度においても、対象者に電子フォーム (Google Forms) を通じて調査を案内し、各自の意思により回答を行ったものを使用しています。

### 3) 研究方法

腰痛の発生状況について、2023年および2024年の同時期に Google Forms を用いたアンケートを実施し、「現在腰痛がある (はい/いいえ)」の回答のみをアンケート解析対象としました。また、氏名、所属部署、勤務年数といった、個人情報を特定できる情報は削除して使用しました。また、個人情報は漏洩しないようにプライバシーの保護に細心の注意を払っています。

### 4) 使用した情報

アンケートの参加人数、腰痛有無について。

### 5) 使用した資料の保存

この研究に使用した情報は電子情報のみであり、個人情報を含まないデータとして保存しています。研究終了後5年間、パスワードで制御されたコンピューター内に保管されます。データ抽出に使用したアンケートデータは、インターネットに接続されていない別のコンピューター内に電子情報として保存します。

## 6) 研究資金と利益相反

この研究に使用された研究資金は一切ありません。また、利害関係が想定される企業等で研究責任者や家族が活動した収入を得ているようなことは一切ありません。

## 7) 研究計画書および個人情報の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、希望される場合にのみ提供します。

また、対象者の同意により、御家族等（父母などの親権者、配者、成人の子または兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容の不明点についても、担当責任者に遠慮なくお尋ねください。

この研究は、対象者の個人情報を特定するデータがわからない形で、学会や論文として発表されます。

この研究にご質問があれば下記の連絡先までお問い合わせください。また、個人情報が研究に使用されることについて、該当者もしくは代理人の方（御家族の方等も拒否を申し出ることができる場合があります）に御了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが発表された場合は、個人が特定できない形式の場合は情報を削除修正できない場合がありますので、御了承ください。こうした場合に勤務時などにおいて職員の皆様に不利益が生じることはありません。

## <問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山東中央病院 リハビリテーション科

氏名：亀井透

メールアドレス：[kyourihal100@gmail.com](mailto:kyourihal100@gmail.com)

※上記連絡先へのお問い合わせは2025年7月1日～2025年9月5日まで有効です。